

講義名	レクリエーション指導演習			授業形態	
担当教員	高橋 宏斗	開講期・曜日・時限	前期 水曜日 2時限		
		単位数	2	履修開始年次	3年生

主題と概要

レクリエーション活動への参加者が気持ちよく活動できるよう、支援者としての対応方法や表現力、行事の運営法を実践的に学ぶ。また、ゲーム・ソング・ダンスなどの指導法を体験的に学習するとともに、自主的、主体的に楽しむ力を育むレクリエーション活動の展開方法を理解する。人々のコミュニケーションを支援する素養を身につけ、健康スポーツ産業や保安・警備など幅広い領域で活躍できる力を養う。

到達目標

自主的・主体的に楽しむ力を育むレクリエーション活動の展開方法を説明できるようになる。
レクリエーション支援のためのゲームや歌、音楽に合わせた身体活動を実践できるようになる。
対象者と活動現場を想定したレクリエーション支援ができるようになる。

提出課題

レクリエーション指導台本
振り返りレポート

課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバックの方法

必要に応じて、個別に講評する。

評価の基準

実技・・・60% 3種目以上合格すること
台本・・・30%
振り返りレポート・・・10%
* 授業実施時間数の4分の1以上（4回以上）欠席した者は単位を認定しない。
* クラブ活動や就職活動による欠席届は1回のみ考慮する。

履修にあたっての注意・助言他

運動指導者にふさわしい服装、シューズで出席すること。
実技当時には復讐練習が大切である。実際の場面を想定し、動きと共にセリフを声に出しながら自主的に練習すること。

教科書

.使用しない。

参考図書

.楽しいアイスブレイキングゲーム集、日本レクリエーション協会

その他

<資料>
授業中に適宜配布する。

授業計画

1. イントロダクション
予習内容：シラバスを見て、自分が興味を持った内容をまとめたうえで講義に出席すること（120分）
復習内容：講義資料の内容を整理・復習し、授業内容の理解を深めること（120分）
2. レクリエーションゲーム
予習内容：レクリエーション支援・指導について調べ、予習しておくこと（120分）
復習内容：講義資料の内容を整理・復習し、授業内容の理解を深めること（120分）
3. レクリエーションゲーム
予習内容：前回までの講義の内容を復習し、メモ等にまとめること（120分）
復習内容：講義で作成した指導案を活用してレクリエーション指導の再確認をすること（120分）
4. レクリエーションゲーム
予習内容：前回までの講義の内容を復習し、メモ等にまとめること（120分）
復習内容：講義で作成した指導案を活用してレクリエーション指導の再確認をすること（120分）
5. レクリエーションゲーム
予習内容：前回までの講義の内容を復習し、メモ等にまとめること（120分）
復習内容：講義で作成した指導案を活用してレクリエーション指導の再確認をすること（120分）
6. レクリエーションゲーム
予習内容：前回までの講義の内容を復習し、メモ等にまとめること（120分）
復習内容：講義で作成した指導案を活用してレクリエーション指導の再確認をすること（120分）
7. 自主的・主体的に楽しむ力を高める展開方法
予習内容：第2回から第6回の講義資料を活用し、実践の準備をしておくこと（120分）
復習内容：講義資料の内容を整理・復習し、授業内容の理解を深めること（120分）
8. 自主的・主体的に楽しむ力を高める展開方法
予習内容：前回授業の内容を確認し指導案の作成をおこなうこと（120分）
復習内容：実践のフィードバックを活用し、指導方法を再確認すること（120分）
9. 自主的・主体的に楽しむ力を高める展開方法
予習内容：指導案の作成を行うこと（120分）
復習内容：実践のフィードバックを活用し、指導方法を再確認すること（120分）
10. プログラムの実施と評価及び改善 テーマ設定と資料選択
予習内容：作成した指導案を確認し、表紙に貼る（120分）
復習内容：実践のフィードバックを活用し、指導方法を再確認すること（120分）
11. プログラムの実施と評価及び改善 グループ編成
予習内容：作成した指導案を確認し、表紙に貼る（120分）
復習内容：実践のフィードバックを活用し、指導方法を再確認すること（120分）
12. プログラムの実施と評価及び改善 実証記録
予習内容：作成した指導案を確認し、表紙に貼る（120分）
復習内容：実践のフィードバックを活用し、指導方法を再確認すること（120分）
13. プログラムの実施と評価及び改善 実証記録
予習内容：作成した指導案を確認し、表紙に貼る（120分）
復習内容：実践のフィードバックを活用し、指導方法を再確認すること（120分）
14. プログラムの実施と評価及び改善 実証記録
予習内容：作成した指導案を確認し、表紙に貼る（120分）
復習内容：実践のフィードバックを活用し、指導方法を再確認すること（120分）
15. プログラムの実施と評価及び改善 実証記録と振り返り
予習内容：作成した指導案を確認し、表紙に貼る（120分）
復習内容：これまでのレクリエーション指導実践をふりかえり、レクリエーション指導についてまとめること（120分）

授業形態（アクティブ・ラーニング）

<input type="checkbox"/>	ア：PBL（課題解決型学習）	<input type="checkbox"/>	イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
<input type="checkbox"/>	ウ：ディスカッション、ディベート	<input type="checkbox"/>	エ：グループワーク
<input type="checkbox"/>	オ：プレゼンテーション	<input type="checkbox"/>	カ：実習、フィールドワーク
<input type="checkbox"/>	キ：その他（A・L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）		

ロールプレイ

卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

本演習は、幅広い年齢層に対応できるプレゼンテーション能力やリーダーシップ力、マネジメント力を発揮できるようになることを、ディプロマポリシーに大きく貢献する科目である。

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

実務経験の有無及び活用

実務経験あり：高橋宏斗（公益財団法人日本レクリエーション協会レクリエーションコーディネーター）

備考

スポーツ健康コース所属学生履修推奨科目